

令和2年度 学校教育目標と経営の基本方針及び重点

北杜市立明野小学校

I 学校教育目標

「かしこく やさしく たくましく」

－原っぱ教育の推進と充実－

1 目指す子どもの姿

(1) よく考え工夫する子ども

- ◇意欲をもって生き生きと学ぶ子ども
- ◇家庭学習の習慣を身に付けた子ども
- ◇学習規律を身に付けた子ども

よく考え工夫する子ども
◇意欲を持って学び合う子
◇学習規律を身につけた子

(2) 明るく仲良く助け合う子ども

- ◇心をこめた挨拶や返事ができる子ども
- ◇相手の気持ちを考えた話し方ができる子ども
- ◇人間関係スキルを身に付けた子ども

明るく仲よく助け合う子ども
◇気持ちよいあいさつ、返事ができる子
◇自他を大切にできる子

(3) 心身を鍛え ねばり強くがんばる子ども

- ◇生活習慣・礼儀が身に付いた子ども
- ◇苦手なことにもチャレンジする子ども
- ◇すすんで運動する子ども

心身を鍛え ねばり強くがんばる子ども
◇生活習慣が身に付いた子
◇すすんで運動する子

(4) 地域から学び明野の地を誇りに思う子ども

- ◇地域から学ぶ子ども
- ◇地域に貢献できる子ども
- ◇地域の人とかかわる子ども

地域から学び明野を誇りに思う子ども
◇地域から学ぶ子
◇地域に貢献できる子

2 目指す学校の姿

- (1) よりよい自分を創る学校
- (2) 一人一人を大切に作る学校
- (3) 保護者・地域に信頼される学校
- (4) 安全で内外に開かれた地域とともにある学校

- ◇生徒指導の充実と、いじめ、不登校の根絶
- ◇あたたかな雰囲気での学級経営の実践
- ◇聴いて 考えて つなげる授業の創造
- ◇主体的な判断力と行動力を培う防災教育
- ◇保育園、中学校との相互交流の実施

3 目指す教職員の姿

- (1) 子どものよさを伸ばす教職員
- (2) よりよい自分を創る、学びの実感を指導支援する教職員
- (3) 互いに学び合い、専門性を高め合う教職員
- (4) 家庭・地域・社会から信頼される教職員

- ◇一人一実践を中心とした指導法の改善
- ◇の実施
- ◇校内研究の活性化（主張のある授業）
- ◇子どもとの遊びや会話を通じた児童理解
- ◇子どもに範を示すあいさつ、清掃

4 目指す連携の姿

- (1) 目指す子ども像の共有
- (2) 三者の役割の自覚と連携
- (3) 積極的な情報発信
- (4) 地域の教育力の活用

- ◇「ひまわり通信」の発行
- ◇明野教育連携推進会議の開催
- ◇コミュニティ・スクールに向けた取り組み
- ◇保護者・児童・地域アンケートの実施
- ◇ホームページの更新と充実
- ◇保護者への協力依頼（見守り、除雪等）

Ⅱ 学校経営の基本方針

- (1) 「生きる力」を育む教育課程を編成し、知・徳・体バランスのとれた育成に努める。
- (2) 主体的、対話的で深い学びを目指した学習指導と授業改善に努める。
- (3) 児童理解や心の居場所づくりに努め、しなやかな心を育成する。
- (4) 基本的な生活習慣を確立し、自ら運動に親しむ態度を育成する。
- (5) 特別な支援を必要とする児童の理解と個に応じた指導の充実に努める。
- (6) 家庭・地域と連携し、地域に根ざした「原っぱ教育」を推進充実させる。
- (7) 危険回避能力を育てる安全教育の推進と、安全管理体制の充実に努める。
- (8) 個々の力量とチーム力の資質向上を目指し、家庭・地域に信頼される学校を実現する。

Ⅲ 学校経営の具体的な方針

- (1) 「生きる力」を育む教育課程を編成し、知・徳・体バランスのとれた育成に努める。
 - ・学校評価の結果を踏まえ、指導計画の改善と充実に努める。
 - ・主体的に聴いて 考えて つなげる授業を積み重ね、学び合いのスパイラルを上げていく。
 - ・情報 I C T 教育，環境，福祉など今日的な教育課題を教育活動に適切に位置づけ推進する。
 - ・社会の一員としての生き方をみつめる体系的なキャリア教育を推進する。※キャリアパスポート
 - ・原っぱ教育をもとにコミュニティ・スクールへ対応する教科横断的なマネジメントの改善に着手する。
- (2) 主体的、対話的で深い学びを実現する学習指導に努める。
 - ・校内研究の充実により組織的・計画的に授業改善に取り組み、学校の教育力の向上を図る。
 - ・体験的な学習や問題解決的な学習により、学ぶ楽しさを実感できる学習指導に努める。
 - ・個に応じた指導に努め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。
 - ・言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む）等の学習の基盤となる資質能力を育成するため教科横断的な視点から教育課程の編成を図る。
 - ・研修会の実施や授業の相互公開を通して、情報活用能力（プログラミング教育・I C T 教育，情報モラル教育），外国語教育の推進を図る。
 - ・一人ひとりの可能性を伸ばし、自己有用感をもたせる指導と評価に努める。
 - ・家庭学習の工夫と家庭との連携により、学習習慣の確立に努める。

(3) 児童理解や心の居場所づくりに努め、しなやかな心を育成する。

- ・児童理解や心の居場所づくりに努め、いじめや不登校のない楽しい学校生活を実現する。
- ・教育相談的手法やS S Tの基礎的な理論を学び、学級経営や生徒指導に生かす。
- ・「聴いて 考えて つなげる」道徳の授業を実践し、道徳性の育成に努める。
- ・「あたたかく聴き、やさしく話す」ことを学級の風土に根付かせる。
- ・朝読書や教科と関連づけた読書指導により、豊かな感性を育む。
- ・学校生活アンケート、Q Uテスト等の調査、児童とのふれあいを通して、児童理解に努める。
- ・規範意識を醸成し、生命を尊重する心の育成に努める。

(4) 健康・安全のための基本的な生活習慣を確立し、自ら運動に親しむ態度を育成する。

- ・児童会活動の一環として、外遊びの日を設定し、運動の日常化を図る。
- ・年間を通して「早寝 早起き 朝ご飯」のスローガンを掲げ、基本的な生活習慣の確立に努める。
- ・一校一実践運動に取り組み、運動の楽しさを味わい、進んで運動に親しむ態度を育てる。
- ・体育の時間に5分間、持久力を高める運動を意図的に取り入れる。
- ・家庭や栄養教諭と連携しながら、食に関する指導を計画的に位置づけ、その充実を図る。
- ・中学校と連携し、体育の出前授業を依頼することにより運動能力の向上を図る。
- ・保護者と連携し、食物アレルギー等にきめ細かく対応する。

(5) 特別な支援を必要とする児童の理解と個に応じた指導の充実に努める。

- ・各家庭や関係機関との情報交換を密にし、障害についての理解と適切な支援の充実に努める。
- ・校内委員会を開催して児童の情報を共有し、同じ方針で指導するよう組織的対応に努める。
- ・個別の支援計画、指導計画の更新とこれに基づく系統的な指導を心がける。
- ・S S WやS Cなど関係諸機関と連携した指導を行い、必要に応じてケース会議を設ける。
- ・インクルーシブ教育、ユニバーサルデザインの理念を踏まえた指導を心がける。

(6) 学校・家庭・地域の連携を深める具体的な取組をとおして原っぱ教育を推進する。

- ・学校便り等により、学校・地域・家庭が目指す子ども像を共有し、役割の自覚と連携を深める。
- ・学校応援団地域コーディネーターを窓口として教育ボランティアを依頼し指導の充実を図る。
- ・学校だよりやホームページの充実を図り、一層の情報公開に努める。
- ・地域の祭りや一斉清掃などへの参加を促し、地域に対する愛着と誇りを育てる。
- ・地域へ積極的な発信を行い、地域と双方向の関係作りを目指す。→コミュニティ・スクール

(7) 危険回避能力を育てる安全教育の推進と、安全管理体制の充実に努める。

- ・月一回の安全点検の実施と課題への速やかな対応により、安全で快適な環境づくりに努める。
- ・主体的な判断力や行動力を育てるよう、抜き打ち避難訓練の実施と工夫、改善に努める。
- ・危機管理マニュアル・避難所開設マニュアルの確認と改善を継続的に行う。
- ・複数の担当者で献立を確認することにより、食物アレルギーによる事故の発生を予防する。
- ・職員、P T Aによる通学路点検を計画的に行い、危険箇所の把握と関係機関への報告に努める。
- ・保護者に対し、登校の見守りや除雪作業への協力を求め、安全確保を図る。

- (8) 個々の力量とチーム力を高め、家庭・地域に信頼される学校を実現する。
- ・校内研究を中心に、研究・研修に努め、専門職としての資質向上を図る。
 - ・学校教育相談の理論と手法を学び、生徒指導や学級経営に生かす。
 - ・職員全員が主体的に学校運営に関わることにより、組織としての力を高める。
 - ・教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化に直結する人事評価を実施する。
 - ・報告・連絡・相談・確認を徹底し、情報と方針を共有して指導に当たる。
 - ・情報セキュリティポリシーに基づき、個人情報の徹底した管理に努める。
 - ・教育公務員としてコンプライアンスの確立を図る。

IV 指導上の努力点

1 凡事徹底

あたりまえのことを、大事に、一つ一つ丁寧にやっています

2 危機管理

最悪を想定し、慎重かつ速やかに、誠意を持って、組織で対応します。

3 当事者意識

報告、連絡、相談により、課題を共有し全員が当事者意識をもって対応します。

4 言動の裏側にあるもの

言動ばかりでなく、その裏側にある判断や気持ちに関心を持って指導します。

5 範となれる存在に

こどもにとって、手本となれるような存在でありたい。

6 子どもと一緒に活動を

一緒に掃除をし、一緒に歌い、一緒に遊ぶよう努めます。

7 前例踏襲の打破

常に、改革、改善を心がけ、「昨年通り」からの脱却に努めます。